

菊池川水系かわまちづくりにおける協働過程に関する研究

熊本大学工学部 ○学生会員 園田晃大
熊本大学 正会員 田中尚人

1. はじめに

近年、河川整備において治水・利水機能だけでなく、自然豊かで地域の文化を育む川づくりが求められるようになった。このニーズの高まりを受けて、平成9年の河川法改正を機に、地域固有の環境資源として河川を活かした空間整備が進められるようになった。その中でも、川づくりとまちづくりを多様な主体が協働して一緒に考え、実践する「かわまちづくり」が注目されている。

そこで本研究では、かわまちづくりにおける空間整備やアクティビティの創出に必要な合意形成の過程・要件を明らかにすることを目的とした。そのために、熊本県を流れる一級河川である菊池川を対象として、川づくりの実態と流域のまちづくり活動の変遷を整理し、かわまちづくり事業の過程を明らかにした。

2. 菊池川流域の概要

本章では菊池川水系の河川整備計画¹⁾と統計データ²⁾をGISによって整理した。表-1のように、菊池川流域は熊本県北部に位置し、豊かな自然環境、観光資源に恵まれている。

表-1 菊池川水系の概要

区分	概要	備考
流域面積	996km ²	山地：約70%、農地：約26%、宅地：約4%
幹川流路延長	71km	
流域市町村	7市5町	菊池市、山鹿市、玉名市、阿蘇市、合志市、日田市 熊本市、南関町、和水町、玉東町、菊陽町、大津町
流域内人口	約21万人	菊池市(49,066人)、山鹿市(53,404人) 和水町(10,086人)、玉名市(66,652人)
支川数	69	

また、菊池川流域は豊富な水資源と平坦な土地という特徴を活かし、弥生時代から米作りで豊かな土地となった。平地には古代から受け継がれた条里、山間には中世以降の農業土木技術の向上による井手と棚田、海辺には近世以降の干拓事業という、米作りを支えた先人たちの技術と土地利用の広がり現在も残っている。稲作に関わる祭りや食など無形の文化も含めて〈米作り、二千年にわたる大地の記憶~菊池川流域「今昔『水稻』物語」~〉³⁾として2017年に日本遺産に認定された。

日本遺産認定以降、これを活用すべく官民それぞれの取り組みが実施され、流域4市町(菊池市、山鹿市、和水町、玉名市)の一層の連携が進み、地域活性化に向けた動きが盛り上がっている。この好況を活かし、「菊池川水系かわまちづくり計画」の策定、推進に係る協議会が設立された。またそれに伴い、地域主体の市民組織を緩くつなげるネットワークである「菊池川おむすびたい」が組織化された。菊池川おむすびたいは、地域のニーズの確認や情報交換を目的としており、かわまちづくり事業終了後のまちづくり活動を継続・推進する役割も期待されている。2018年度は菊池市において、空間整備の事業化に伴う合意形成として、菊池川おむすびたいと協力したワークショップが行われている。

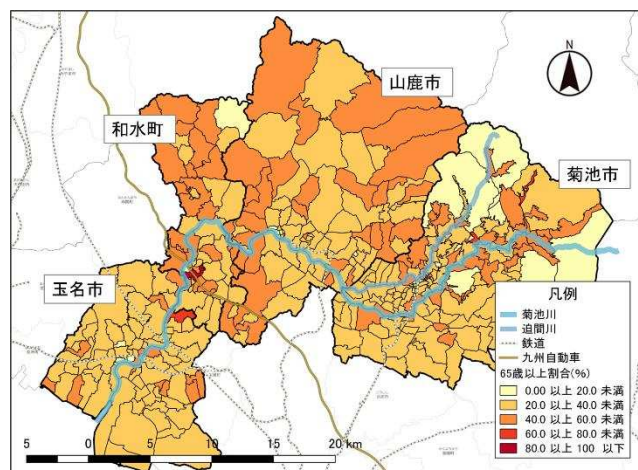


図-1 菊池川流域の高齢化率

3. 流域のまちづくり活動の変遷

本章では、菊池川流域におけるまちづくり活動の変遷を整理し、かわまちづくり事業以前から行われてきた河川に関するまちづくりの実態を明らかにした。

(1) 調査概要

熊本日日新聞記事データベース⁴⁾を用いて、「市町村名」と「まちづくり」のワードでAND検索することにより、菊池市と玉名市における過去30年間のまちづくり活動に関する記事を整理した。それらを「自然環境」「歴史」「農業」「観光」の4種類に分類し比較した。さらにその中から、まちづくり活動の場所もしくは目的が河川に関連するものを「かわまちづくり」として抽出した。

(2) 調査結果

表-2 に 1988 年からの菊池市で行われてきたまちづくり活動の変遷を示した。菊池川流域のストーリーが日本遺産に認定され、かわまちづくり事業に係る組織が立ち上げられた 2017 年以前から、河川に関連するまちづくり活動が行われてきたことが読み取れる。

表-2 菊池市におけるまちづくり活動数の変遷

年代	検索結果 ヒット件数	まちづくり活動	河川に関連	種類	自然環境	歴史	農業	観光	その他
1988	0	0	0						
1989	0	0	0						
1990	2	0	0						
1991	3	0	0						
1992	1	1	0		1				
1993	3	1	0					1	
1994	5	1	0						
1995	6	1	0			1			
1996	10	4	0			2			2
1997	20	7	0			1		2	4
1998	13	5	0						5
1999	11	6	0		1				5
2000	16	2	0						2
2001	20	5	0						5
2002	27	8	1		2	1			5
2003	19	4	0			1			3
2004	30	10	2		3	2		1	4
2005	23	4	0		1				3
2006	20	4	0			1	1		2
2007	11	4	0		1				3
2008	25	11	0		2	3		1	5
2009	29	9	0			3	1		5
2010	19	3	0			1			2
2011	30	9	0			3		1	5
2012	32	7	0		1	3			3
2013	28	7	0			2			5
2014	30	4	1		1				4
2015	16	2	0						2
2016	17	3	0						3
2017	19	4	0					1	3
2018	16	4	2		1	2			1
計	501	130	6		14	26	3	6	81

表-3 まちづくり活動数の比較(菊池市, 玉名市)

検索ワード	検索結果 ヒット件数	まちづくり活動	河川に関連	種類	自然環境	歴史	農業	観光	その他
菊池市	501	130	6		14	26	3	6	81
玉名市	902	295	41		61	68	11	14	141

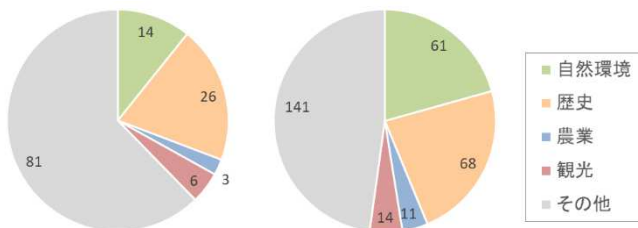


図-2 まちづくり活動の種類(右: 菊池市, 左: 玉名市)



図-3 かわまちづくり活動に関する新聞記事

(2018.03.18 熊本日日新聞朝刊より)

4. 菊池市かわまちづくり事業にみる協働過程の分析

本章では、2018 年度、菊池市で行われてきた「かわまちづくり会議」におけるワークショップの過程を整理することで、合意形成のメカニズムを理解した。

表-4 かわまちづくり会議の検討プロセス

	日時	概要	目標	主な意見
第1回	8月9日(木)	・まち歩き ・WSI 追関川でもうすぐ開府と玉峰 ・かわまちづくり事例紹介	・メンバーの顔合わせ(協力体制の構築) ・追関川、玉峰寺、御所通り他の魅力や思い出などの共有 ・かわまちづくり会議の目標、今後のスケジュールの共有 ・自主的な人材やグループの確認・発掘	・ゆっくりできるスペースが欲しい ・市街地と川が思った以上に近い ・歴史的な建物が魅力的 ・安全であれば利用したい ・昔はよく遊び場になっていた ・整備を機に商店街も盛り上げたい
第2回	9月20日(木)	・第1回かわまちづくり会議の振り返り ・WSI 4つのテーマに分かれてグループディスカッション	・基本方針(案)についての合意 ・水辺利用のニーズ・アイデアの収集 ・水辺利用・維持管理を考慮した意見聴取 ・自主的な人材やグループの確認・発掘	・川床やカフェなど利用したい ・昔の写真で歴史を感じた ・地域内外の人に追関川の良さを知ってもらいたい ・地域住民主導の見守り隊 ・異常事態にも対応できる安全性
第3回	10月25日(木)	・水辺のイベント試行 (環境学習、水生生物調査、カヌー体験) ・川づくりからの空間提案 ・WSI 右岸と左岸の空間提案・利活用、結ぶ方法	・水辺整備の概略イメージについての合意 ・左右岸それぞれの水辺の使い方や左岸と右岸の結び方を考える。	・川での思い出を次世代に繋ぎたい ・自然環境の保全、持続性が大事 ・水辺に近い遊歩道が欲しい ・商店街と川をむすぶ拠点をつくる ・地元の人々寄りつくような風景 ・地域の知らない魅力を発信する
第4回	11月20日(火)	・菊池市かわまちづくりの振り返りとこれから ・事例から学ぶ(白川夜市)	・かわまちづくり計画申請のお知らせ ・今後のスケジュールの確認	・資源はあるが人が来ない ・自分たちが使う場所は自分たちでルール作り管理することが大事 ・ポテンシャル、場の力はある ・人任せにしない、自分が動く ・無理せずお金が回る仕組み



図-4 第1回 WS での意見

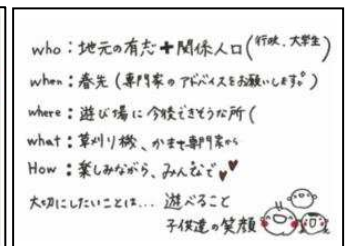


図-5 第2回 WS での意見



図-6 第3回 WS での意見



図-7 WS の様子

第1回会議では、魅力や思い出の共有を行い、それぞれが思い描く理想像をペアで話し合った。第2回会議では、実現させたい案を具体化させるために5W1Hまで落とし込み、住民主体の維持管理について考えた。第3回会議では、空間整備は行政から与えられるものではなく、住民が使いこなすものであるという自分事としての意識を再確認した。第4回会議では、他地域の成功事例から、地域主体の組織が機能する工夫を学んだ。

5. おわりに

4 章までの考察をさらに深め、それらに関連させて、かわまちづくりにおける協働過程を明らかにする。

謝辞: 本研究にご協力頂いた、菊池川流域の様々な活動団体の皆様に、記して感謝の意を表する。

参考文献

- 1) 国交省九州地方整備局菊池川河川事務所: 菊池川水系河川整備計画 <http://www.qsr.mlit.go.jp/kikuti/kasenseibi/index.html>
- 2) 政府統計の総合窓口: <https://www.e-stat.go.jp/>
- 3) 菊池川流域日本遺産ホームページ: <https://www.kikuchigawa.jp/>
- 4) 熊本日日新聞記事データベース: <http://db.g-search.or.jp/ad/kumanichi/index.html>